

INFACO[®]

ELECTROCOUP **F3020**



ORIGINE
FRANCE[®]
GARANTIE

BVcert.6152145

OTHER LANGUAGES

取扱説明書 - **JP**





スタンダード



ミディアム



マキシ



蹄トリマー

ご使用前の注意	4
環境保護についての注意点	4
収納ケースの内容	4
製品情報	5
仕様	6
取扱説明書	6
使用と安全の注意事項	11
使い方	11
バッテリーの充電	14
半開/刃の切込み深さの調節	18
DSES WIRELESS 安全システム	20
LED の説明	28
メンテナンス	29
年1回の定期メンテナンス	34
持ち運びの際の注意	34
安全上の注意	34
保証条件	36
フランス国外での保証表明	38
技術情報	41
剪定ばさみ F3020 の機能概要	42
EC適合宣言書	47

ご使用前の注意



警告。本説明書の安全上の注意事項および指示を必ずお読みください。本説明書の注意事項および指示に従わない場合、感電・火災、重傷を負うおそれがあります。

本説明書の注意事項および指示をいつでも読めるように保管してください。本注意事項上の「機器」とは、お使いのバッテリー駆動式電動ツール(電源コード付き)を指します。

環境保護についての注意点

破棄については、使用国の指示に従って下さい。



> 本電動機器は家庭ごみと一緒に破棄しないで下さい。

> ご不要になられた機械装置、備品及び梱包材は正規のリサイクル施設で処理して下さい。



> 廃棄物の処理に関する最新情報についてはINFACO指定の販売店までお問い合わせ下さい。

収納ケースの内容

剪定ばさみ1台 F3020 (StandardまたはMedium)

バッテリー (製品番号 L100B)

充電器

充電器の電源コード

剪定ばさみの電源コード (右)

バッテリーベスト(ベルト+ショルダーストラップ)

カフ

ホルスター(剪定ばさみホルダー)

グリースポンプとカートリッジ (製品番号 952P)

刃の締め付けレンチ

替刃

研磨石 (製品番号 350P)

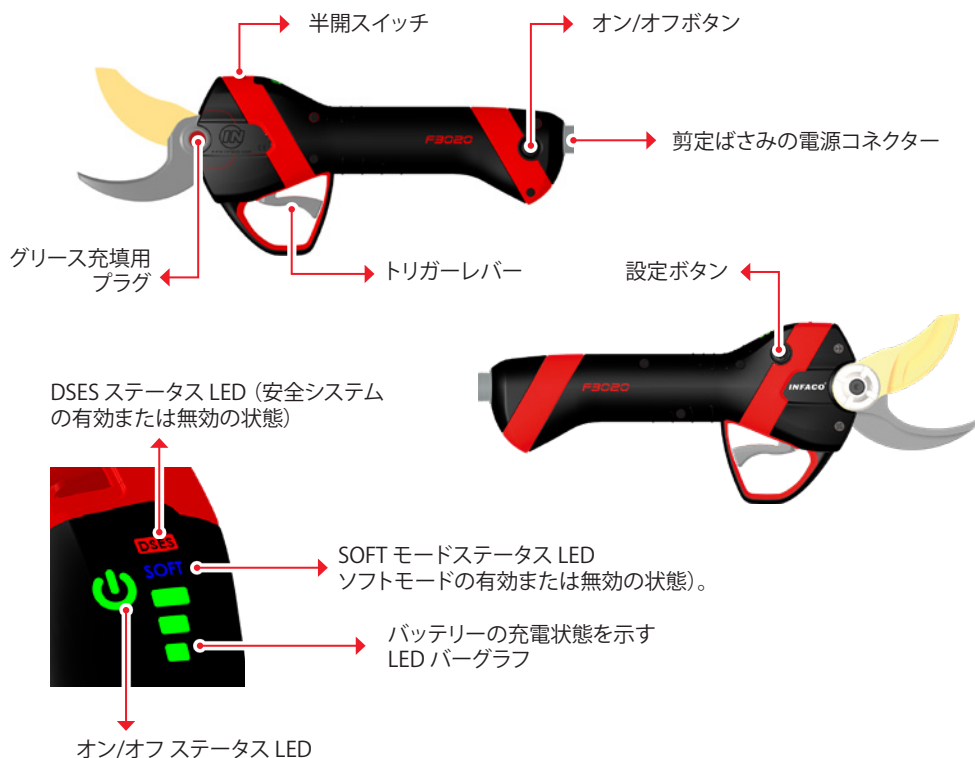
ネジキット

取扱説明書



製品情報

剪定ばさみ F3020



バッテリー L100B



仕様

	剪定ばさみ F3020 standard	剪定ばさみ F3020 Medi- um	剪定ばさみ F3020 Maxi
最大消費電力	電力 : 1340 W		
電源	36V および 48V バッテリー対応		
切断能力	40 mm	45 mm	55 mm
刃の回転数	44 回転/分	32 回転/分	15 回転/分
重量	708 g	835 g	1,165 g
寸法	280 mm	295 mm	360 mm
	バッテリー L100B		
定格電圧	36 V		
テクノロジー	リチウムイオン - 18/650 - 10S1P 搭載		
容量	3 Ah / 108 Wh		
重量	698 g		
寸法	150 mm x 83 mm x 58 mm		
	充電器 941C		
入力	110 V / 230 V - 50/60 Hz		
出力	42 V - 2A		
電力	84 W		
ヒューズ	3,15 A		

上記の仕様は表示目的以外に法的拘束力はありません。本製品の仕様は改良等の為予告なく変更する場合があります。

特許取得済製品

取扱説明書

ご使用の前に

初めて本機を使われる場合、販売店から正しい使い方と性能についてのアドバイスを受けられることを強くお勧めいたします。**機器をご使用になる前や、通電前に、本体各部と付属品の取扱説明書を必ずお読み下さい。**

バッテリー

初めて本機を使われる場合や越冬の後は、完全充電を行って下さい(14ページの充電の手順を参照)。



L100B リチウムバッテリーには必ず INFACO (製品番号:941C) リチウム充電器を使って充電してください。

重大電気事故発生リスク(爆発や火災など)のある充電器を使ってはいけません。

バッテリー互換品

- ・ 剪定ばさみ F3020 に対応するバッテリーを下表に示しますが、これらのバッテリー(L100B以外)を使用すると、本機器の性能が低下する場合があります(下表参照)。
- ・ 機器の最大限の性能を発揮するためには、36VバッテリーL100Bの使用が推奨されます。

バッテリー互換品			
L100B	831B	L850B	L810B
✓	✗ 機能するが最適ではない	✓	✓
			
36 V	48 V	48 V	48 V

- ・ 剪定ばさみ F3020 を上記のように 48V バッテリーで使用する場合は、追加設定が必要です。これについては、INFACO指定の販売店にお問い合わせください。

剪定ばさみ F3020は、従来機種(F3005、F3010)のバッテリーと互換性がありません。

機器の持ち運び

数種類の持ち運び方が可能です：

1. すべての装置を装備する

- ・ 収納ケースからバッテリー、バッテリーキャリアベルト、ショルダーストラップ、ホルスター、カフ、電源コードを取り出します。
- ・ バッテリーキャリアベルトにバッテリーを取り付けます。バッテリーの取り付けには、2本のストラップをバッテリーのベルト通しに通して下さい。



- ・ ショルダーストラップをベルトに固定し、電源コードを付属のケーブルパスに通して下さい。



- ・ ベストを着て、ショルダーストラップを調整します。ストラップをお好みの長さに引き、フロントクリップをお好きな位置で留めてください。



- ・ ベルクロのクイックファスナーにより、カフを装着し、そこにケーブルを取り付けることが可能です。これで、ケーブルが腕に沿うようになり、作業中に邪魔になりません。



2. ベルトとカフを使った持ち運び

- ・ ショルダーストラップなしで、ベルトとカフのみの装着が可能です。この場合、カフは人間工学的に優れているので強く推奨します。その際、バッテリーはケーブルの出口を水平にし、右か左に固定する必要があります。



3. ベルトやショルダーストラップを使わないバッテリーの持ち運び

- ・ バッテリーはズボンのベルトに装着するだけです。この場合、カフは人間工学的に優れているので強く推奨します。このとき、バッテリーソケットは下を向いているはずです。



大雨のときは、バッテリーを湿気から守るため、防水の衣服の下に着用するとよいでしょう。



4. 剪定ばさみホルスターでの持ち運び

- ・ 移動中や剪定作業以外の時間に機器を安全に持ち運ぶために、ホルスターの使用を強くお勧めします。
- ・ その際、ホルスターは必ず付属のベルトループを通してバッテリーベルトに、ベストを着用していない場合はズボンのウエストベルトに装着してください。
- ・ 剪定ばさを装着するには、スタンバイモードまたはオフモードで、完全に閉じた状態で、止まるところまでホルスターに挿入する必要があります。
- ・ ホルスターから剪定ばさみを取り出すには、片手で剪定ばさを握り、空いた手でラッチのロックを解除し、剪定ばさをホルスターから取り出すだけです。



電源の入れ方



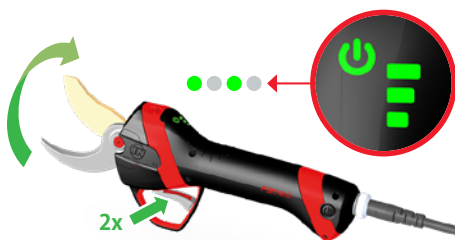
機器の動作中は、絶対にカuttingヘッドに手を近づけないようにしてください。



1. ソケットの位置みぞを合わせながら、ケーブルをバッテリーに接続した後、本機に接続してください。



2. LED が点灯するまで本機の ON/OFF ボタンを押し、すべてのLED が1秒間点灯して正常に動作していることを確認します。本機の初期化の準備が整いました。



3. 初期化段階：トリガーを2回押さえます。ステータスLEDが緑色に速く点滅し、刃がまだ開いていなければ開きます。



4. 刃が開いたら、刃が完全に閉じるまでトリガーを押さえると、ステータスLEDが緑色に点灯します。

剪定ばさみが作動する準備ができました。



この段階で刃のストロークが外的要因で阻害された場合、検出された停止位置は無効となります。この場合、本機のスイッチを切り、カuttingヘッドから障害物を取り除いてから、スイッチオンの手順を繰り返してください。

使用と安全の注意事項

一日の作業を始める前に、バッテリーが完全に充電されていることを確認して下さい（本機の3つのLEDが点灯）。

剪定以外の作業、**特に刃の研ぎ、磨き、グリース充填**をする時は常に電源コードから本機を外してください。

毎朝刃の締め付けが正常かどうか確認して下さい（31ページを参照）。

本機は地面に置かないで下さい。また暴雨にさらさないで下さい。

バッテリーのプラスチックケースに割れ目がなく、衝撃や攻撃が加えられた可能性がないことを確認して下さい。

作業中（充電時も同様）、剪定ばさみとバッテリーの温度が上昇するのは正常です。

推奨する使用温度-5℃から 35℃。この範囲外の温度で使用した場合、機器の性能が下がる可能性があります。

雨の時はバッテリーの上から防水服等を着用し、バッテリーを濡らさないでください。

本機器を雨の中または湿気のあるところで使用した後は、本機器（接続を切り）を収納ケースに入れず風通しが良く温かい場所に保管して下さい。

ケーブルは常に刃の周りから遠ざけて下さい。

使い方

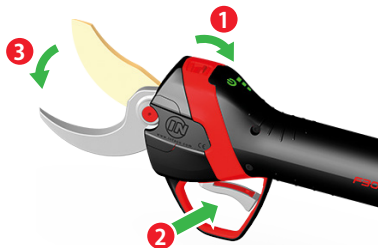


機器の動作中は、絶対にカッティングヘッドに手を近づけないようにしてください。

半開

本機は刃の開閉幅を半分にすることができる半開スイッチを備えています。半開時の刃の開閉幅を自在に調節することができます（18、19ページを参照）。

1. 刃を半開にするには、半開スイッチを入れて下さい。
2. 刃が閉じるまでトリガーレバーを操作します。
3. 次に刃が開く時に、刃は半開の位置まで開きます。



通常モードとソフトモード

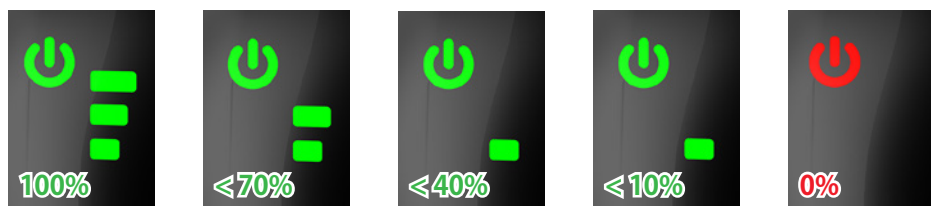
以下の 2 つの作動モードから選択が可能です：

- 「通常」モード：剪定ばさみは最高速度で作動し、最適なタイミングで刃が閉じます。
- 「ソフト」モード：より柔らかい感覚で刃のコントロールができます。この場合、切削速度は約15%低下します。このモードは、剪定を学ぶ際に強く推奨されます。
 - 1つのモードから他のモードへ移行させるには、半開スイッチを**素早く** 6 回 (3 往復) 操作します。初期状態に応じて、SOFT の LED が点灯または消灯します。
 - モードの変更を確認するにはトリガーレバーを操作してください。



バッテリー残量

バッテリー残量は本機の 充電インジケーターの 3 つの LED で表示されます。



バッテリーの充電不足状態：

最後の LED ランプが点滅する時、バッテリーの充電は 10% 以下です。

バッテリー残量がない状態：

バッテリーが完全に切れると本機は停止します。電源 LED が赤色になってすばやく点滅し、充電インジケーターの 3 つの LED がすべて消えます。この状態になったら、バッテリーの充電が必要です (14 ページを参照)。

「刃を閉じた状態」のスタンバイモードでの起動

本機器はスタンバイモードを搭載しており、付属の剪定ばさみホルダーに剪定ばさみを「刃を閉じた状態」で素早く安全に収納することができます。



1. 刃を閉じたまま本機のトリガーを押さえます。



2. 半開スイッチを 2回 (=1往復)、トリガーを離さずに操作します。

3. 3 つの充電量インジケーターがスクロールしているときは、機器がスタンバイモードになっています。

4. ここでトリガーを離すと、機器は「刃を閉じた状態」のスタンバイモードになります。



5. スタンバイモードでは、ステータス LED は緑色に点滅しています。機器を再起動するには、トリガーを 2回押さえます。

自動スタンバイモード

安全のため、3分間使用しないと、剪定ばさみが自動的にスタンバイモードになる機能を備えています (電源 LED が緑色に点滅)。この時間は、INFACO 指定の販売店がお客様の都合に合わせて変更することが可能です。

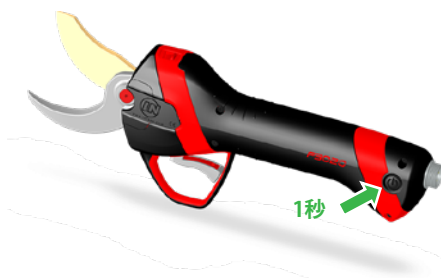
機器を再起動するにはトリガーレバーを 2回押さえて下さい。

機器の電源を切る

本機のスイッチを切るには、本機の LED が消えるまで ON/OFF ボタンを押してください。安全のため、刃を閉じた状態で本機のスイッチを切ることをお勧めします。

自動シャットダウン

本機は 15分間作動を中断すると電源が自動的に切れるようになっています。



バッテリーの充電

充電器の使い方

バッテリーの充電には、風通しが良く、周囲に引火性物質や発火源、水分がない場所で充電器を接続してください。周辺温度は 10℃～25℃ が理想的です。



1.電源コードを充電器に接続して下さい。



2.電源コードをコンセントに差し込んで下さい。



3.電源が入ると、充電器は初期化します。ステータスLED(1)が赤／緑に交互に点灯し、越冬 LED (2) が3秒間点灯します



4.インジケーターのLEDが消えたら、充電器の準備が完了です。

バッテリーの充電



バッテリーの充電を 0℃ 以下 40℃ 以上の場所で行うことは厳しく禁止されています。

充電するときは、バッテリーや充電器を覆ったり、熱源や可燃物の近くに置かないでください。充電器の通風孔をふさがない。

1. バッテリーを充電器の出力ケーブルに接続する。
2. バッテリーを接続すると、充電器がバッテリーを検知して充電を開始し、ステータス LED (1) が緑色に点滅します。
3. バッテリー充電中:ステータス LED(1)が緑色に点灯します。L100B バッテリーのフル充電にかかる時間は約 2 時間です。



バッテリーの越冬



次のような場合は、バッテリーの越冬処置を行う必要があります：

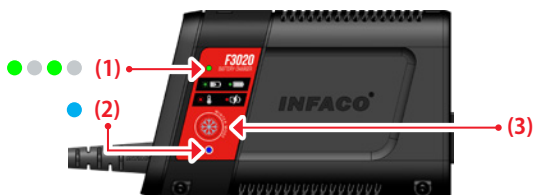
- ・ 剪定時期の終わり。
- ・ 1ヶ月以上使用しない場合。
- ・ 年度改定前の輸送の場合。

越冬処理をすることで、バッテリーを良好な状態で保管することができます。越冬プロセスには最大 10時間かかります。

1. 充電器にバッテリーを接続して下さい。



2. 越冬ボタン (3) を押して、プロセスを開始します。越冬 LED (2) が青色に点灯し、ステータス LED (1) が緑色に点滅します



3. 越冬作業の完了：越冬 LED (2) は青く点灯したまま、ステータス LED (1) は緑に点灯します。



バッテリーを外して収納ケースの中に保管して下さい。

越冬モードの有効／無効を切り替えるには、越冬ボタンを押す必要があります。充電器を電源から外すと、越冬モードは自動的に解除されます。



越冬モードで停電になった場合は、越冬モードは解除されます。バッテリーが接続されたままだと、電源復旧時に充電が行われます。保管する前に必ず越冬処理をしてください。

13日以上充電器に接続されていたバッテリーは、自動的に越冬作業に入ります。

バッテリーの越冬が行われない場合



越冬プロセスが正常に行われない場合、使用を始めた時にばってエリーの消耗が速いと感じる可能性があります。

この場合、数回の充電で完全な自律性が回復します。これは、起動から 1 週間続く可能性があります。このためには、バッテリーをフル充電するのに必要な時間、充電器に置いたままにしておく必要があります。

バッテリーの保管についての注意点

バッテリーと充電器は、霜や湿気から守られ、風通しが良く、周囲に引火性物質や発火源がない場所に、お子様の手が届かないように保管して下さい。

バッテリー残量がない状態で保管しないで下さい。使用しないときでも、バッテリーの充電量は減少します。バッテリーの充電が過放電に陥った時、充電を行うことができなくなり、故障と見なされます。

越冬プロセスを行わずにバッテリーを保管しないで下さい。

故障したバッテリーを保管しないで下さい。INFACO 指定の販売店へご返却ください。

バッテリーを充電器や機器につないだまま保管しないで下さい。

充電器をプラグにつないだまま保管しないで下さい。



保管または安全についての注意事項を守らなかった場合、メーカー保証は無効となります。



製品が損傷した時（衝撃、落下、高温暴露など）の発火の危険。



2002/96/CE規格に則り、バッテリーを家庭ごみと一緒に廃棄しないでください。また火中や水に捨てないで下さい。バッテリーを開けないで下さい。



バッテリーは INFACO 指定の販売店にご持参ください。

使用済みや欠陥のあるバッテリーは欧州指令 91/157/CEE によりリサイクルが義務づけられています。

充電器の安全

温度障害:ステータス LED(1) が赤色に点滅

1. バッテリーを取り外し、バッテリーが冷えるまで数分間待ってください。
2. 充電ケーブルにバッテリーを接続して下さい。問題が解決しない場合は、INFACO 指定の販売店にご連絡下さい。



バッテリーの不良:ステータス LED(1) が赤色に点灯

1. 充電ケーブルからバッテリーを外して下さい。
2. バッテリーと充電器の接点がきれいな状態であることを確認し、バッテリーを充電ケーブルに再接続します。
3. 問題が解決しない場合は、充電ケーブルからバッテリーを取り外し、INFACO 指定の販売店に連絡して下さい。



注意が必要ですが、INFACOリチウム充電器(製品番号:941C)は F3020 リチウムバッテリーのみに適合します(製品番号:L100B)。この充電器は、他のバッテリーには使えません。

半開 / 刃の切込み深さの調節



機器の動作中は、絶対にカッティングヘッドに手を近づけないようにしてください。

「調節」モードへのアクセス

半開時の刃の位置と受け刃に対する刃の切込み深さを自由に調節することができます。この調節を行うには、本機の「調節」モードへアクセスする必要があります。

「調節」モードは、本機の「スタンバイ」状態以外では、いつでも呼び出すことができます。

1. バーグラフ LED が点滅するまで、本機の「設定」ボタンを3秒間押してください。



2. 刃が大きく開きます。



3. 本機は「調節」モードになっています。

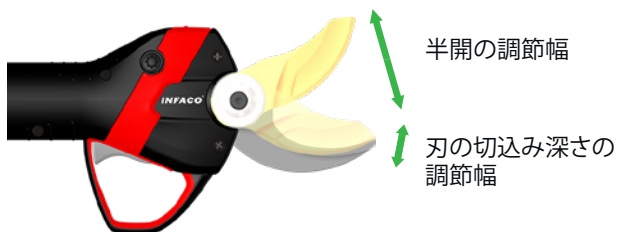


誤って設定モードにアクセスした場合、再度「設定」ボタンを 3秒間押すと、保存されている設定を変更せずにモードを終了することができます。

半開または刃の切込み深さの調節

本機を「調節」モードにした後、半開または刃の切込み深さを調節することが可能です。本機には予め刃の位置付けがされています：

- 半開時の調節には10段階。
- 刃の切込み深さの調節には10段階。



1. 本機を「調節」モードにした後、トリガーレバーを押さえて予め設定された初めの調節位置にします。
2. トリガーレバーを押さえ、維持して位置を変えます。
3. 希望の位置を超えた時は、トリガーレバーを放して刃を開いた位置に戻して操作を再開します。
4. 半開または刃の切込み深さの位置が決まったら、その位置でトリガーレバーを維持します。
5. 半開スイッチの切り替えで位置を確認します（行き1回または戻り1回）。
6. 確定したことを確かめるには、本機の LED が緑色に点灯していることを確認します。本機が正常に作動する準備ができました。



DSES WIRELESS 安全システム

剪定ばさみ F3020 は、「WIRELESS」安全システムを標準装備しています。すべての刃のキットに対応します。

このシステムの動作は、後の段落で説明しますが、使用者の希望によりいつでも停止することができます。



使用者は、DSES WIRELESS システムには全ての義務的な通常の安全規則が適用され、いかなる場合もこれらを置き換えることができないことを十分知らされています。

したがって、使用者はいかなる状況においても、本書に記載されたすべての安全規則、およびより一般的なあらゆる切削工具の使用に関する通常の安全規則に従わなければなりません。

ご使用上の注意

本剪定ばさみは導電性トリガーを備えています。使用者の体を通した電気コンタクトを得るには、このトリガーが剪定ばさみを持っている手の指と接触する必要があります。本システムが正常に機能するためには、剪定ばさみと人体とが接触している必要があります。

人間の体は、それぞれ独自の特徴を有します。例えば手荒がある場合、安全システムの検知が遅れる可能性があります。

システムが正常に作動するためには、INFACO の導電性グローブの装着を皆様に強くお勧めします。これにより、信号が増幅されます。

INFACO 製以外の導電性グローブの使用は全面的に禁止されています。

これらの導電性グローブを着用するには、体系的な目視検査と、導電性レベルの定期的なチェックが必要です。このチェックは、「DSES システムの正常な動作を確認する」(24ページ)の章で説明した「DSES チェック」の段階で実施する必要があります。

INFACO 社は、グローブの状態が悪い場合や本説明書の記載内容を守らないことによって生じた動作不良には、一切責任を負いません。

INFACO は、心臓ペースメーカーをご使用の方は、健康上のリスクを減らすために、本機器ご使用前に主治医と心臓ペースメーカーの製造元にご相談されることをお勧めします。

初回使用時

初めて本機を使われる場合、販売店から正しい使い方と性能についてのアドバイスを受けられることを強くお勧めいたします。

最適な安全レベルを保証し、誤作動を減らすために、DSESシステムの校正(24ページを参照)と、剪定ばさみを持つ手とは反対の手に INFACO の導電性グローブを着用することを強く推奨します。

使用者は、素手での使用または INFACO の導電性グローブ（製品番号GWDSES または 355G29）の装着が必須です。本装置には、他のモデルのグローブやアンダーグローブをご使用になれません。

✓ 使用が認められているグローブ		✗ 使用が禁止されているグローブ	
			
剪定ばさみと反対の手の導電性グローブ: ・ 製品番号:355G29 (右利き用) ・ 製品番号:355G29G (左利き用)	剪定ばさみを持つ手の導電性グローブ: ・ 製品番号:GWDSESD (右利き用) ・ 製品番号:GWDSESG (左利き用)		
		革	プラスチック ファブリック

重要:

INFACO の導電性手袋の使用は以下の理由で強くお勧めします:

- ・ 安全システムの導電性を高めるため。
- ・ 手のひら全面で反応性を均一にするため。
- ・ 濡れた木や地面に近い木での誤作動を軽減します。

装着



重要な注意点

- ・ 本グローブ以外のグローブを使用しないでください。
- ・ グローブは肌に直接接触している必要があります。
- ・ 洋服の袖やアンダーグローブの上に INFACO の導電性グローブを装着しないでください。

導電性ゴムバンドの伝導性を減少させる可能性がありますので、剪定ばさみを持つ手と反対側の手首に時計などを装着しないでください。

 可能な装着	 禁止されている装着
・ 安全グローブ 2枚: 剪定ばさみを持つ手とは反対側のグローブと剪定ばさみを持つ側のグローブ	グローブの中に袖を入れる 
・ 安全グローブ 1枚のみ : 剪定ばさみとは反対側の安全グローブ	
・ 安全グローブ 1枚のみ : 剪定ばさみの持ち手側の安全グローブ	
・ グローブなし	

DSES セキュリティシステムの利用

DSES WIRELESS は標準で搭載されているため、デフォルトで機能が有効になっています。適切な動作を確保するためには、システムの定期的なチェックと校正が必要です。



電源投入時、すべての LED が正常に動作していることを確認する。



動作時、DSES のステータス LED が消灯している
= DSES は有効



動作時、DSES のステータス LED が赤く点灯している
= DSES は無効。
保護されていません。

DSESが、動作時に LED が赤色に点灯し、無効となる可能性のある2つのケースがあります：

- 一時的・自発的な停止：



DSES は 1カットだけ無効になり、その後自動的に再び有効になります：



このカットの間、あなたは保護されていません。

- 継続的・自発的な停止：



DSES は永久に無効です。再び有効にするには、設定ボタンの 10秒間の長押しが必要です。



保護されていません。

誤作動：

特定の作業条件下では、切断中に安全装置が作動することがあります：

- ・ 非常に湿った木（例：非常な悪天候による）。
- ・ 地面に近い剪定、
- ・ 電柱や電線の近く。

このような剪定を行うには、上記の無効化機能を使用します。

このような場合、保護されません。

INFACO 導電性手袋を着用し、安全システムの校正を行うことで、誤作動の発生率を低減できます（24ページのシステム校正手順を参照してください）。

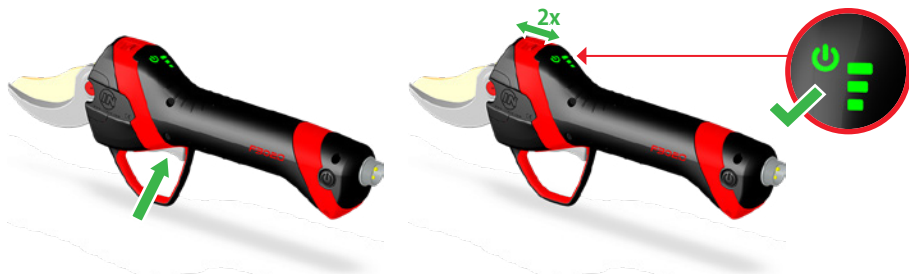
DSES システムが正しく機能し、校正されていることのチェック

「DSESチェック」機能は、剪定ばさみがスタンバイ状態のときに実行され、システムが正常に動作していることを確認できます（素手または導電性手袋を使用して）

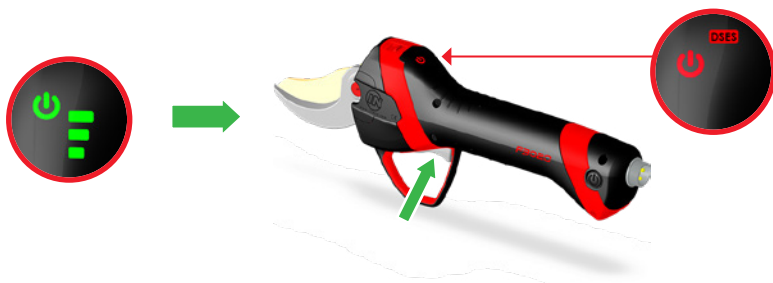
このチェックは、作業を始める前と1日に数回行う必要があります：

- ・ **カッティングヘッドが清潔が確認してください。汚れがひどい場合、伝導性や安全システムの正常な動作を損なう恐れがあります。**
- ・ **導電性手袋を着用している場合、DSES の最初の日常のチェックは、乾いた手袋で、手袋の表面全体で行う必要があります。**

1. 剪定ばさみをスタンバイ状態にする



2. トリガーを押さえて、そのまま押し込む。1秒間の遅延の後、DSES 制御モードが有効になります。DSES の LED が点滅し、電源 LED が赤色の点灯に変わります。



- トリガーを押さえながら、剪定ばさみを持つ側の手（作業設定の選択に応じて、INFACOの導電性グローブを装着または素手）とは反対の手の指先に直接受け刃の下部を接触させてください。



- バーグラフでグローブを装着している手または素手の伝導性レベルを確認できるよう、トリガーを握った状態でグローブまたは手の表面全体（手のひらと指5本、内外両側）を隅々までなぞります。

DSES のチェックと校正					
伝導性レベル	最良	良	可	弱	不十分
LED および バーグラフ					

- 表面全体が制御されたら、受け刃と手袋をした手、また素手との接触を維持しながら、最小導電率の領域でトリガーを離します。このようにして、校正が行われます。剪定ばさみはスタンバイモードに戻ります。



決して手袋を切断して機能チェックを行うことはせず、上記の手順で行ってください。手袋を破損する恐れがあります。

DSES の異常・故障

- DSES チェック段階で報告された不十分な導電性(手またはグローブ)

- **INFACO の導電性グローブを装着していない** : 手袋をしていない手の特定の部分で ON/OFF のステータス LED が赤の点灯になる場合は、INFACO の導電性グローブを着用して導電性を向上させる必要があります。
- **NFACO の導電性グローブを 1枚装着** : 手袋の特定の部分で ON/OFF のステータス LED が赤の点灯になる場合、その部分は機能停止しています。グローブが汚れている可能性があります。洗剤を使わないきれいな水で手洗した後、乾かしてから再び DSES チェック段階を繰り返します。また、手袋が摩耗して使用できないこともあります。その場合交換する必要があります。
- **INFACOの 導電性グローブを 2枚装着** : どちらのグローブの伝導性が不十分かを確かめるには、グローブを1枚だけ装着して「グローブのチェック」を 2回行ってください:グローブを 1枚外して、次にもう一方も行います。「INFACO の導電性グローブを 1枚装着」の項目をご覧ください。

伝導性レベル	不十分
LEDとバーグラフ	



これらの導電性が不十分な 3つの場合では、**剪定ばさみは機能しますが、使用者を保護することはできなくなります。**

- DSES ランプが赤色に点灯している場合、DSES は無効です。

- **剪定ばさみ初期化時の起動エラー** : トリガーを初めて押さえたとき、電源を入れた後、またはスタンバイモードを解除した後は、カッティングヘッドに触れないようにしてください。



この場合、剪定ばさみを再起動することが必要です(10ページ参照)。不具合が解消されない場合は、設定ボタンを長時間(10秒未満)押して、「連続停止」機能が作動していないことを確認してください。LED が消えない場合は INFACO 指定の販売店に連絡してください。**保護されていません。**

- **安全システムの一時的な停止** : 「DSES セキュリティシステムを使う」(P.23)の章を参照して、セキュリティシステムを再アクティブ化してください。
- **手袋がワイヤーシステムに接続されていない**

有線 DSES

有線式の DSESシステムは、剪定ばさみ F3020との互換性を維持しています。

有線セキュリティシステムを使用するには、INFACO指定の販売店に連絡して DSES キットを入手してください。

この改造には剪定ばさみの特別な設定が必要です。この設定は、INFACO指定の販売店のみが行うことができます。



この変更により、WIRELESS セキュリティシステムは無効となります。この変更は元に戻すことができますが、INFACO 指定の販売店に連絡する必要があります。

LED の説明

説明 (剪定ばさみは作動しています)

	固定緑の LED	機器は正常に運転しています。
	固定オレンジの LED	過大な労作: 刃を研いでください。 問題が解決しない場合、使用している工具が関連作業に相応しくない可能性があります。販売店に連絡を取って、個別のアドバイスを受けてください。
	SOFT 青の LED が点灯	SOFT モードが有効
	DSES 赤の LED が点灯	安全装置が作動していない、または欠陥がある: - 初期化不良がないことを確認してください - システムが一時的または永久的に無効です

安全 (剪定ばさみの一時停止)

	オレンジの LED が緩慢に点滅 	連続 5 回の阻断衝撃: 5 秒後、剪定ばさみは自動に正常運転します。
	赤色の LED が緩慢に点滅 	剪定ばさみの温度が高過ぎる: 剪定ばさみのスイッチを入れたままにしてください。再び運転可能になると、機器は自動で正常運転します。 バークラフは、バッテリーの充電レベルを示し続けます。

バッテリー残量がない (剪定ばさみ運転停止)

	赤色 LED 高速点滅 + 充電インジケータ消灯 	バッテリー残量がない: 電源赤色の LED が点滅し、チャージインジケータが消えているのは、バッテリー残量がなくなったことを示しています。この状態になったら、バッテリーの充電が必要です (14 ページを参照)。
	赤色の LED が緩慢に点滅 	機器の故障: 機器が故障を示している時には、一旦オフにし、再起動してください。問題が解決しない場合は、販売店にご連絡下さい。 バークラフは、バッテリーの充電レベルを示し続けます。

メンテナンス

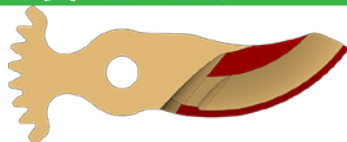
動画
研ぎ



剪定以外の作業、特に刃の全体研ぎ、シャープニング、グリース充填をする時は常に電源コードから本機を外してください。

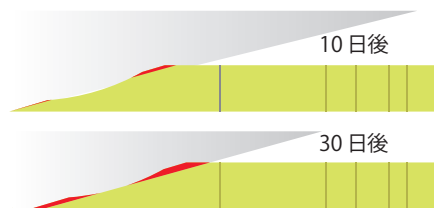
刃を研ぐ

良いメンテナンス



2回の研ぎ／日+1回のシャープニング／時間

研ぎは、2本の赤い斜め線の部分を平らに置いて、貫入の角度を常に同じにします（研石またはオプションの電動シャープナー A48V3 を使用します）。



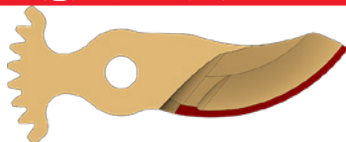
シャープニング は、刃の切る部分を回復させることであり、切れ味を最適化することができます。カーバイドシャープナー（INFACO から入手可能、参照番号950AF）で、ベベルを4回、カウンターベベル（刃の裏側）を1回磨きます。

良い貫通状態

結果：

- ・ クリーンなカット
- ・ 高い切断能力
- ・ 素早い切断
- ・ 動作時間の増加
- ・ 機械的疲労の軽減
- ・ 刃の長寿命化
- ・ 正常なエンジン温度
- ・ 高効率化
- ・ 手首への負担が少ない

悪いメンテナンス



刃先だけを研いだりシャープニングするメンテナンスをすると、刃の薄い部分が取り除かれます。切る角度がなくなってしまいます。



注意：シャープニングだけでは不十分です。

悪い貫通状態

結果：

- ・ 切断能力の大幅な低下
- ・ 中途半端なカットのため、数回のヒットが必要
- ・ 消費電力がはるかに高い。動作時間の低下
- ・ 刃の摩耗が早い
- ・ エンジンのオーバーヒートの原因になる
- ・ 時間の無駄
- ・ 手首への負担が高い(= TMS)

完璧な切れ味を維持しながら、刃の寿命を最大限に延ばすために、当社の A48V3 シャープナーの使用をお勧めします。日常の研ぎにかかる時間もかなり減らせます。

グリースポンプ

ポンプを使用する前に、ポンプの準備、グリースの配置、およびプライミングの手順に従ってください。

・ 新しいポンプを初めて使用する

この手順は、ケースに当初存在していたポンプ以外、追加のポンプを購入した場合にのみ行ってください。

- ポンプに初期真空圧をかけて、ピストンを緩めます（ピストンが固着している可能性があります）(1)。
- カートリッジの周囲のプラスチックフィルムをはがします。
- カートリッジ(2)とポンプからキャップを取り外します。
- ポンプにグリースカートリッジを挿入します（ポンプ側にグリースが見えます）(3)。
- カートリッジのピストン中央を押し、ポンプを最大まで満たします(4)、(5)。チャンバーの充填度が100%にならないのは正常です。
- ポンプにキャップを取り付けます(6)。
- ポンプへのプライミング：せん断ブレードのクランプナットを緩めます(7)、(8)、(9)。次に、グリースポンプをフック軸(10)にセットし、スプリングが止まるまで4回(11)ポンピングします。
- もう一度ポンピングしてブレードにグリースを差すと、グリースが出て(12)、チャンバーが完全に満たされます。
- フックナットとネジを締め直します。

・ カートリッジの交換

- グリースポンプからキャップを取り外します。
- 空のカートリッジを取り出します。使用済みカートリッジは、地元の条例に従って廃棄してください。
- 新しいグリースカートリッジからプラスチックフィルムとキャップを取り外します(2)。
- ポンプに新しいグリースカートリッジを挿入します（ポンプ側にグリースが見えます）(3)。
- カートリッジのピストン中央を押し、ポンプを最大まで満たします(4)、(5)。チャンバーの充填度が100%にならないのは正常です。
- ポンプにキャップを取り付けます(6)。
- ポンプへのプライミング：せん断ブレードのクランプナットを緩めます(7)、(8)、(9)。次に、グリースポンプをフック軸(10)にセットし、スプリングが止まるまで4回(11)ポンピングします。
- もう一度ポンピングしてブレードにグリースを差すと、グリースが出て(12)、チャンバーが完全に満たされます。
- フックナットとネジを締め直します。

・ 再プライミング

保管条件によっては、ポンプが動作しない（カートリッジ内のグリースが、主に気泡が原因で排出されない）可能性があります。この場合は、再度プライミングしてください。方法：

- グリースポンプからキャップを取り外します。
- カートリッジのピストン中央を押し、ポンプを最大まで満たします(4)、(5)。
- ポンプにキャップを取り付けます(6)。
- ポンプへのプライミング：せん断ブレードのクランプナットを緩めます(7)、(8)、(9)。次に、グリースポンプをフック軸(10)にセットし、スプリングが止まるまで4回(11)ポンピングします。
- もう一度ポンピングしてブレードにグリースを差すと、グリースが出て(12)、チャンバーが完全に満たされます。
- フックナットとネジを締め直します。





1



2



3



4



5



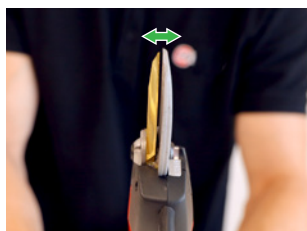
6



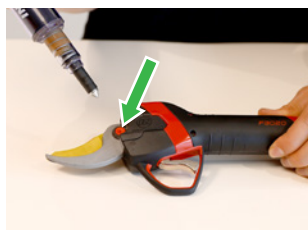
7



8



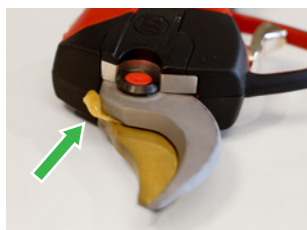
9



10



11



12



剪定以外の作業をするときは、必ず本機を電源コードから外してください。

グリース充填

最低、日に2度グリース充填して下さい(朝と午後の開始時)。

グリースをしっかり充填するためには刃を少し緩める必要があります。方法：

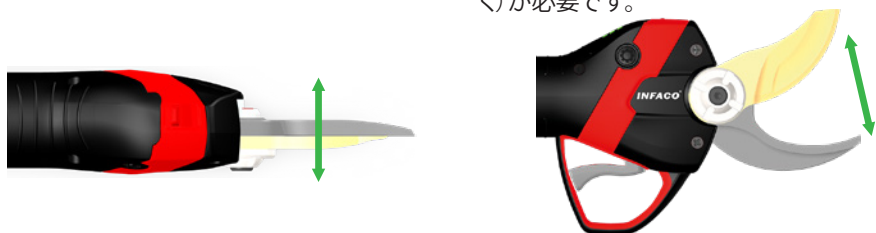
1. ネジとナットをレンチで緩めます。
2. グリースポンプの先端をグリース充填用プラグの充填口にセットします。グリースポンプを直立させてから、ポンプを作動させます。
3. グリースを充填したら、レンチが外れるところまでナットの締め付けを調整します。
4. ネジを締めた後、刃の締め付けが正しいか手順を確認します(下記参照)。



刃の締め付け

毎朝刃の締め付けが正常かどうか確認して下さい。刃が正常に締め付けられていれば、緩みがありません。

刃の締め付けを良好にするためには、手で無理なく剪定ばさみを閉じることができること(剪定ばさみの電源プラグは外しておく)が必要です。



締め付けを調節するには、以下の作業を行います：

1. レンチを用いてネジを緩めます。ネジを取り外す必要はありません。
2. 緩めてから、レンチが外れるところまでナットの締め付けを調節して下さい。
3. ネジを締めて、先の手順を用いて正しく締め付けられているかを確認します。



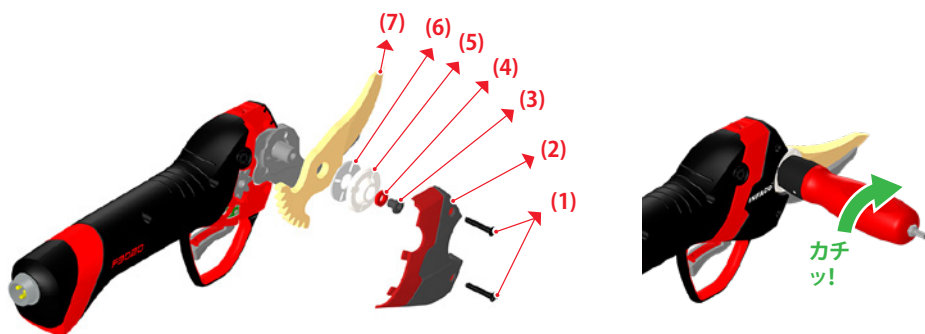
注記：刃を閉じる方向にわずかなゆとりが残っていることがあります。このゆとりは、ピニオン/ラックの「歯車の歯の間」のガタなので、正常の範囲です。



剪定以外の作業をするときは、必ず本機を電源コードから外してください。

刃の交換

1. レンチの十字の先で2本のネジ(1)を緩め、カバー(2)を外します。
2. レンチの六角部を使い、ネジ(3)とエラストマーワッシャー(4)を取り外します。
3. レンチを使って、ナット(5)とニードルベアリング(6)を取り外します。
4. 刃(7)を取り外します。刃を交換します。
5. 必要に応じて、ピニオンの周囲を掃除します(化学製品を使用しないでください)。
6. 新しい刃を閉じた状態で本機にはめ込みます。
7. ニードルベアリング(6)を取り付け、レンチが外れるところまでボルト(5)の締め付けを調整して下さい(30ページを参照)。
8. ネジ(3)にエラストマーワッシャー(4)を取り付け、ネジ(3)を締めます。
9. 必要に応じ、グラファイトグリースを用いて、刃の歯の部分にグリースを差してください。
10. カバー(2)を本機に取付け、2本のネジ(1)を締めます。
11. 必要であれば、刃の切り込み深さを調整します(18ページの「刃の切り込み深さ」の章を参照)。
12. 32ページに記載の通りにグリースを差します。



カッティングヘッドのお手入れと消毒

カッティングヘッドを清掃/消毒して木々の病気が蔓延するのを防ぐことも可能です。清掃/消毒には、腐食性製品や機器を損傷する恐れのある製品の使用を避けて下さい。使用する製品の選択については、遠慮なくINFACO 社にご相談ください。

年1回の定期メンテナンス

剪定シーズン終了時には、保管時のバッテリーの早期老化を防ぐために、バッテリーを越冬モードにして下さい（15ページを参照）。毎年弊社による定期点検サービスをご利用されることをお勧めします。次の作業時期に本機を安全で最適な状態でご使用いただくことができます。

持ち運びの際の注意

収納ケースはリチウムバッテリー > 100Wh の輸送の証明を受けています (UN 3480-3481規格) が、発送時輸送者は以下の規則を守る義務があります：

- ・ 一式のコネクターを完全に外してください (剪定ばさみ、ケーブル、バッテリー)。
- ・ バッテリーは越冬処理をし、収納ケースの規定の受け溝に収めてください。収納ケースにしっかりとテープを張り、開かないようにしてください。

安全上の注意

本機で剪定以外の作業をする時は刃を閉じた状態でバッテリーを外し、バッテリーベストのホルスターに入れてください。

注意：本機器を使用しない時 (保管、運搬、充電終了後など) は、電源コードからバッテリーを外してください。必ず剪定ばさみを電源コードから外してから次の作業を行ってください：

- ・ バッテリーベストを着脱するとき。
- ・ 刃を研ぐとき。
- ・ 刃の取り付けや取り外し、グリース充填のとき。
- ・ カuttingヘッドを交換するとき。
- ・ 本機のメンテナンスのとき。
- ・ 剪定以外の用途。

刃を取り外したり調節したりする際は刃先の取扱いに十分注意して下さい。

直径が大きすぎる木や、つる性の木や木の枝以外の素材を専用に切断しないでください (特定のキットを除く)。

機器の操作中はカuttingヘッドから手を常に離してください。

疲れているときや気分がすぐれないときは本機を使用しないでください。

汚れたり、機能しないDSE5グローブは使用しないでください。

作業時は滑り止めの靴を履いてください。高所で作業をするときはそれに適した装置 (はしごや台座など) を使用してください。

本機器で作業をする時は地面にしっかりと足場を確保し十分にバランスを保ってください。

雨天時は、バッテリーを保護してください。取り外すときは、バッテリーソケットに水分が入らないように注意してください。

火事や爆発の恐れがあるところで本機器を使用しないでください。例えば可燃性水溶液やガスのそばで作業しないでください。

ケーブルは熱やオイル、鋭利な物から離してください。

本機器を夜間使用したり、十分な光がない場所で照明をつけないで使用したりしないでください。

本機器はお子様やその他の人の手に届かない場所に保管してください。

お子様が本機器で遊ぶことがないように監視してください。

肉体的、感覚的、又はハンディキャップを持つ人、子供、或は取扱いの経験・知識のない人は、彼らの安全を請け負うことのできる責任者が彼らの監視を行い本機の取扱いに関する事前指示を与えられる場合を除いて、本機器を使用することはできません。

充電器は、ケーブルを持って吊り下げないように持ち運ばないでください。また、電源を抜くときにケーブルを引っ張らないでください。

デバイスのケーブルに欠陥や損傷がある場合は、INFACO の工場または INFACO の正規販売店でオリジナルのケーブルまたはセットと交換する必要があります。

いかなる理由においてもバッテリーを決して開けないでください。

バッテリー、ベスト、充電器、コネクタに機械的な変更を行わないでください。

バッテリーを決して水にはつけないで。ください

バッテリーの充電中にバッテリーを背負わないでください。

バッテリーまたは充電器を高温 $>60^{\circ}$ (太陽、ヒーターなど) にさらさないで下さい。

バッテリーを 0°C 以下または 40°C 以上で充電しないで下さい。

引火性物質または爆発性物質 (内燃機関用燃料、ガス、窒素肥料など) の近くでバッテリーを充電しないで下さい。

監視なしに長時間充電しないで下さい。

INFACO が販売する以外の充電器、バッテリー、コードを使用しないで下さい。

本機器 (剪定ばさみ、コード、バッテリー、充電器) のお手入に化学製品を使用しないで下さい。

INFACO は、心臓ペースメーカーをご使用の方は、健康上のリスクを減らすために、本機器ご使用前に主治医と心臓ペースメーカーの製造元にご相談されることをお勧めします。



DSES 安全システムのある、なしに関わらず、いかなる状況においても、使用者は必ず、剪定ばさみを持つ手と反対側の手が、本機器の刃から最低 20cm (安全距離) 離れているのを確認してください。



安全のために、硬い皮を施した手袋やコード付きまたはコードなしの追加安全装置 (DSES) などの適切な保護具を使用して、剪定ばさみの反対側の手を保護してください。

欠陥のある部品を含む機器の使用によって生じた人身事故や物的損害について、当社は一切の責任を負いかねます。



保証条件

INFACO は、原因や法的根拠の如何を問わず、(1)本書の指示(特に安全に関する指示)に反する使用者による機器の保管、使用、メンテナンス、および/または介入、および/または (2)欠陥のある部品や付属品を含む機器の使用によって生じたいかなる欠陥、損傷、損害、および/または不利益についても責任を負わないものとします。すべての場合において、使用者は、機器の保管、使用、メンテナンス、安全に関するすべての指示を注意深く遵守したことを証明する必要があります。

- 機器の保証期間は1年です(保証期間は3シーズンまで延長可能です。下記の赤枠を参照してください)。
- アルミニウム製ヘッド(製品番号 904T)は永久保証です。
- ギア付モーターの保証は3年です。

保証期間中のバッテリーの交換は、バッテリーの性能が元の性能の 70%以下である場合に行われます。

保証は、販売店においてINFACO 社に保証申告(保証書またはwww.infaco.com のオンライン申告)を行った場合のみ有効です。INFACOの国際保証書の申告については、INFACO指定の販売店に遠慮なくご相談ください。

本機器の購入の際に保証書が送付されなかった場合は、工場から発送された日付が商品保証の開始日となります。

INFACO は、工場から発送後一年経って販売業者が販売した機器の保証に関しては、いかなる責任も負いません。

保証は機器の通常の使用に対して行われ、次の場合は保証外になります：

- 不適切なメンテナンスやメンテナンスの不足による故障
- 不適切な使用による故障
- 通常の損耗による故障
- 修理資格のない人が分解した場合
- 自然災害(火事、洪水、雷など)
- 衝撃が加えられた場合
- 購入時に保証書が送付されていない場合
- INFACO製以外のバッテリーや充電器を使った場合

修理期間中に本機器が使用できないことに対して、いかなる場合も補償いたしません。

保証期間中の修理又は交換を理由に、当初の保証期間を延長又は更新することはできません。

保証には工場の人件費(機器のメンテナンスが常に行われていたという条件で)が含まれますが、販売業者の人件費に適用されるとは限りません。

INFACO正規代理業者以外の販売店による修理はINFACO製品保証の対象外になります。

故障の際は、INFACO 製品を購入した販売店あるいは弊社のアフターサービス (+33) 05 63 33 91 49へご連絡ください。

係争を避けるため、以下の点にご留意ください：

- **保証対象の製品：**送料お客様ご負担でお送りください。返送費用は弊社負担となります。
- **保証対象外製品であっても、直前のオフ・シーズン中にメンテナンスサービスを受けた場合：**送料お客様ご負担でお送りください。返送費用は弊社負担となります。
- **保証対象外製品で、直前のオフ・シーズン中にメンテナンスサービスを受けなかった場合：**送料お客様ご負担でお送りください。返送費用はお客様ご負担で代引きとなります。修理費用が 80ユーロ（税抜き）を超える場合は、見積書を送付いたします。

毎シーズン後にメンテナンスサービス料金を提示致します。

剪定の 3シーズン(1+2)に渡って保証期間を延長することが可能です。保証の延長に関する注意：最初と 2番目のシーズンの終わりに、有料メンテナンスサービスを利用する必要があります。

機器を購入後の最初の 3シーズンに、2つのうちの 1つのメンテナンスサービスが利用されないと、製品保証の延長は無効になります。

弊社ではバッテリー寿命を最低 5シーズン確証しています。万が一、バッテリーが 5シーズン持たなかった場合、また、本体を常にメンテナンスしていた場合、バッテリーによって回復する容量が初期容量の 70%未満であることを条件に、日割りでバッテリー交換を適用させていただきます。

例：新品のバッテリーの価格を 5（製品寿命のシーズン数）で割って、使用したシーズンの数をかけて算出した価格。

技術情報またはアフターセールスサービス：

フランス国外での保証表明

保証の有効性を確保するために、**機器を購入したらすぐに** 保証宣言を行うようにしてください。

この保証表明は、オンラインで行う必要があります：**www.infaco.com**

または QR コードからも行えます：



INFACO の国際保証書の記入方法については、INFACO 指定の販売店に遠慮なくご相談ください。

販売代理店欄

販売店はこの控えを保管して下さい。

シリーズ番号 > 製品番号 >

姓:

名(ファーストネーム):

会社名>

完全なご住所>

.....

都市名 >

郵便番号>

電話番号>

購入日> / /

備考>

お客様署名

予備欄

保証の有効性を得るには、直ちに以下のサイト：

www.infaco.com、「本機器をお買い上げの際は」にアクセスして保証書を作成するか、本書面に正式な文字(大文字)で必要事項をご記入の上、ご返送ください。

姓 > 名 >

会社名>

完全なご住所>

.....

都市名 > 郵便番号 >

電話番号>

メール >

購入日> / /

シリーズ番号 v-製品番号 >

--	--	--	--	--	--	--	--

備考>

☐ 樹木栽培

☐ オリーブの栽培

☐ ブドウ栽培

☐ 緑地

販売店印

シリーズ番号

--	--	--	--	--	--	--	--

販売店

販売店
保管用
お客様用ファイル用
INFACO



--

--



フランス製造 製品



製造元 > INFACO S.A.S. - 81140 CAHUZAC-SUR-VÈRE (FRANCE)

タイプ > ELECTROCOUP

製品番号 > F3020

技術情報 またはアフターサービス

INFACO S.A.S.

Bois de Roziès

81140 CAHUZAC-SUR VERE France

電話 : (+33) 05 63 33 91 49 - Fax : (+33) 05 63 33 95 57

メール : contact@infaco.fr

インターネットにある技術関連のビデオ : www.infaco.com www.infaco.com

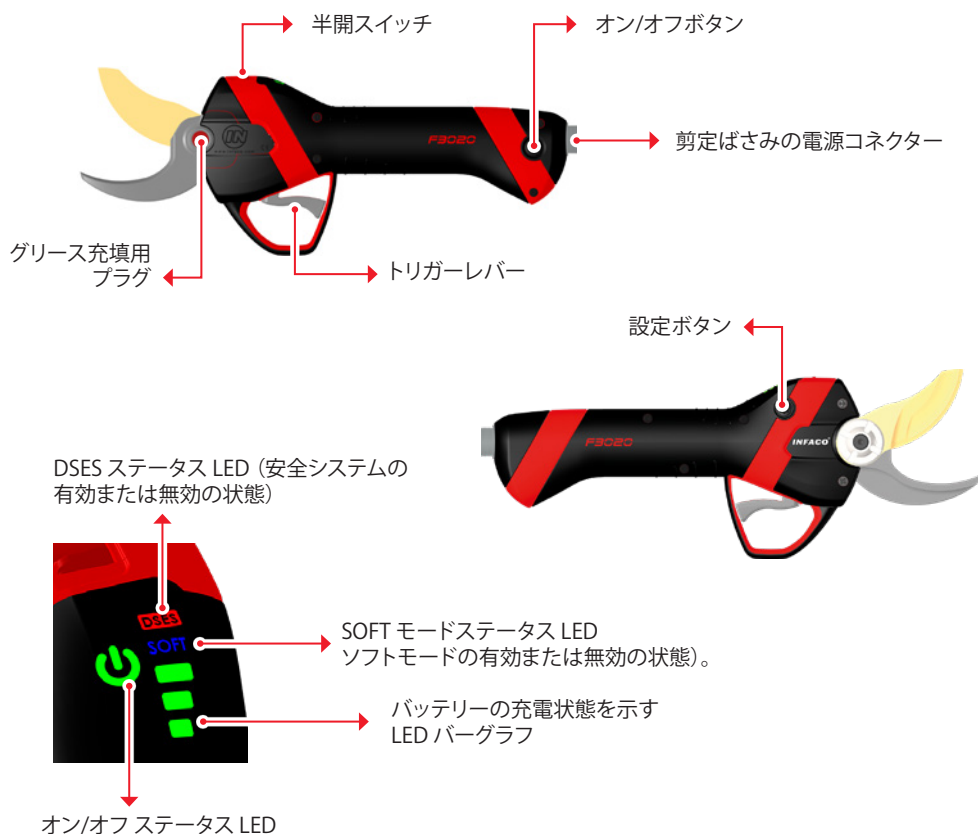
剪定ばさみ F3020 の機能概要



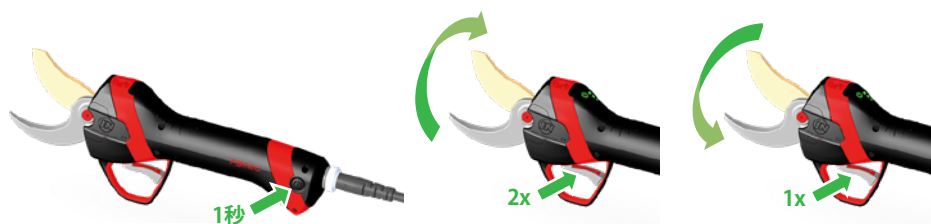
注意: この文書は、デバイスの動作の概要を説明するものです。本機を使用する前に、必ず取扱説明書全体をお読みください。

基本機能

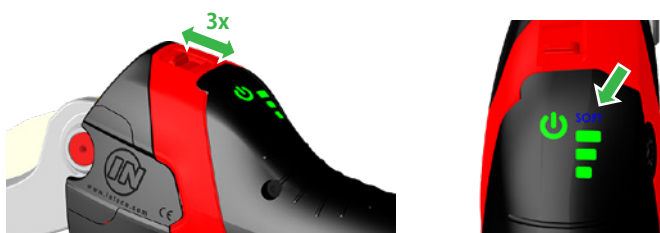
1. 剪定ばさみの説明



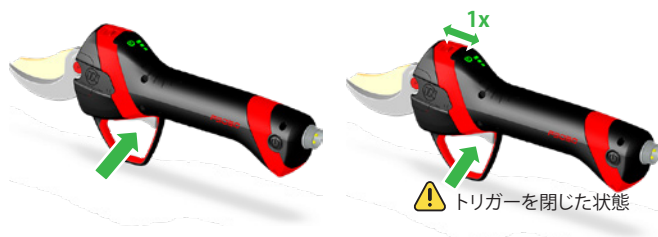
1. 機器の電源を入れる



2. ソフトモードの有効化／無効化

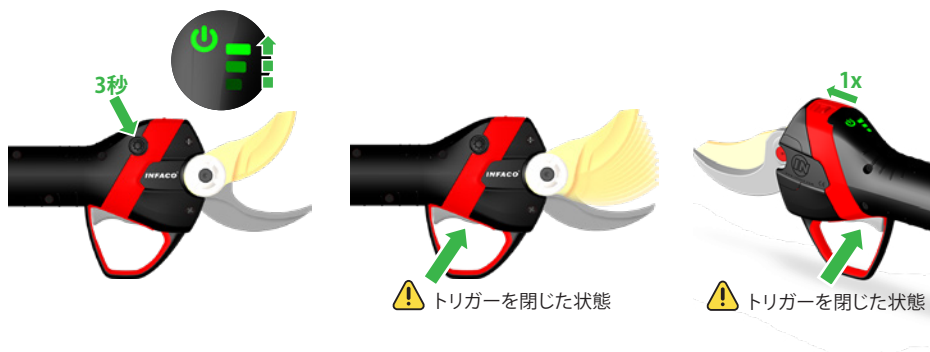


3. 高速スタンバイモード



設定機能

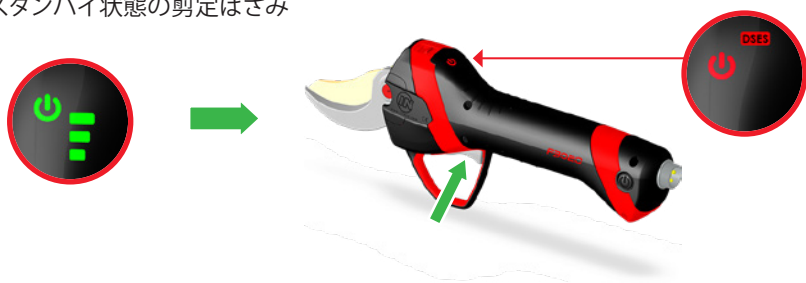
半開および刃の切込み深さの調節



安全システム

1. 持ち運びに関する伝導性チェック

スタンバイ状態の剪定ばさみ



DSES のチェックと校正					
伝導性レベル	最良	良	可	弱	不十分
LED および バーブラフ					

2. 一時的・自発的な停止:



3. 継続的・自発的な停止:



EC適合宣言書

DECLARATION OF CONFORMITY (CE) / CE-KONFORMITÄTSERKLÄRUNG

INFACO s.a.s.は、以下に指定する新しい機器について宣言します：

INFACO S.A.S. declares that the new equipment designated below :
INFACO s.a.s. erklärt, dass die im Folgenden bezeichneten neuen Geräte :

電子制御式ポータブル剪定ばさみ

Portable pruning shear with electronic control / Elektronisch gesteuerte tragbare Astschere

ブランド名 > INFACO

Brand name / der Marke

モデル > ELECTROCOUP F3020

Model / modell

シリーズ番号 >

Serial no / serien-Nr

製造年 >

Year of manufacture / herstellungsjahr

は以下の指令の規定に適合しています：

Complies with the provisions of the directives for / Folgenden Richtlinien entsprechen :

- 「機械」(指令 2006/42/CEE)。
« appliances » (directive 2006/42/CEE) / Der „Maschinenrichtlinie“ (Richtlinie 2006/42/EG).
- 「屋外で使用する機械からの騒音排出」指令 2000/14/EC (2002年3月18日制定) 2005/88/EC (2006年5月22日制定)で修正されました。

Directive 2000/14/EC « on the noise emission by equipment for use outdoors » (order of 18 march 2002) modified by the directive 2005/88/EC (order of 22 may 2006).

Der Richtlinie zu "Geräuschemissionen von Maschinen, die im Freien verwendet werden", Richtlinie 2000/14/EG (Beschluss vom 18. März 2002), geändert durch die Richtlinie 2000/14/EG (Beschluss vom 22. Mai 2006).

Electrocoup F3020 Standard - F3020 Medium

ワークステーションでのA特性音圧レベル, LpA (NF EN 60745-2-11 : 2009)

59 dB(A)

Sound pressure level LpA // Schalldruckpegel A-bewerteter Schalldruckpegel am Arbeitsplatz, LpA

不確定 Uncertainty // Messunsicherheit

KwA 3 dB(A)

振動放射量測定値, ah (NF EN 12096)

0.9 m/s²

Measured vibration emission value, ah // Gemessener Schwingungsemissionswert, AH

不確定 Uncertainty // Messunsicherheit

1,5 m/s²

- 「充電器」(指令 2004/108/EEC) およびそれを反映した国内規制。
"Electric chargers" (directive 2004/108/CEE) and with national legislation adapting them.
„Elektrische Ladegeräte“ (Richtlinie 2004/108/EG) und den nationalen Bestimmungen, die diese umsetzen.
- INFACO において技術ファイルを編集する権限を有する者は、ALVAREZ Grégory である。
The person authorised to compile the technical file within the company INFACO is Mr. Gregory ALVAREZ.
Die für die Erstellung der technischen Unterlagen bei INFACO berechtigte Person ist ALVAREZ Grégory

作製場所と日時 > CAHUZAC SUR VERE

Signed in / Ausgestellt in

2022年 2月 1日

Date / Datum

INFACO 社 社長 DELMAS Davy

INFACO Managing Director / Geschäftsführer des Unternehmens INFACO

署名

Signature / Unterschrift

INFACOは、機械に関する関連情報を国家当局に提供することを約束します。

INFACO undertakes to provide national authorities with all relevant information concerning the machine.

INFACO verpflichtet sich, den zuständigen nationalen Behörden die einschlägigen Angaben zur Maschine zur Verfügung zu stellen



www.infaco.com